西牧大使の草の根無償案件引渡式（カラス州 CLDC）出席（令和 4 年 12 月 6 日）

2022/12/6

令和 4 年 12 月 6 日、西牧大使は当館の実施する令和 3 年度・草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「カラス州アロアブ村における地域教育開発センター建設計画」（供与限度額72，391米ドル）に係る引渡式に出席しました。

同計画は、1975 年にカラス州（北海道の2倍の面積があるナミビアで最大の州）のアロアブ村に設立されたウースターヘイム小中併設校（児童合計 859 人）敷地内に、地域教育開発センター（CLDC：学校を中退した児童や、正規の教育を受けていない大人を対象に無償で教育や職業訓練を提供し、正規の教育・職業訓練課程への編入や経済的自立の支援を行う施設）1棟に2教室、2事務所、トイレ5基を設置するものです。

本案件の実施により、アロアブ村及び周辺地域の正規教育から中退した青少年、失業者及び非識字者（年間約 1,500 人）が、新たに CLDC にて読み書きをはじめとする教育を受け、小規模牧畜等の生計向上に繋がる技能訓練を受けることが可能となりました。今回の支援により同地域で生涯教育制度が確立するとともに、職業訓練を通じて青少年を含む失業者の経済的自立に貢献することが期待されます。さらに CLDC が地域の情報センターとして機能することにより、同村住民約 5, 000 人のITへのアクセスが可能となることが期待されています。

引渡式でスピーチを行う西牧大使（左から、州カウンセラー（上院議員）、カレー教育副大臣、フレデリック・カラス州知事）

引渡式に集った地域住民とナミビア国営放送局（NBC）の取材の様子

供与施設前で西牧大使を歓迎する地元のサン族の子供たち
（壁のペイントは州カウンセラー（上院議員兼務）が自らペイントしたもの）

施設内部の様子

施設のオープニングを祝う関係者（左から、州カウンセラー（議員）、カレー教育副大臣、西牧大使、カラス州知事）